

2025年度 探究型カリキュラム各授業学習目標・授業目標 科目名：3年福祉探究アドバンスト

高等部教育目標	
イエス・キリストを通して、人と世界に仕える使命感と実力を養い、豊かな心と真摯な態度を備えた人格を培う	
探究型カリキュラム教育/学習目標	
Mastery for Service を体現する世界市民の一員として、国内外の社会に自ら関わり貢献できる力を育成する/身につける	
探究型カリキュラムにおける5つの学びの方針 Five Principles for Learning	
1. 自分事として ＜オナーシップ/一人称＞	2. 社会/実践を通して ＜PBL型/アクション＞
3. 知識を大事に ＜自ら得る知識/高める関心＞	4. コミュニケーションを通して ＜自分/他者のやりとり＞
5. 生徒・教員が共に ＜共に探究する関係性＞	
上位学習目標	
【知識・技能】	
①福祉に関連する様々な社会課題について、その歴史も踏まえながら自分の言葉で説明することができる	
②福祉に関する様々な社会課題に取り組んでいる団体や組織について、その課現状や課題について語るすることができる。	
【思考力・判断力・表現力】	
①現在の社会の様々な場面に存在する課題を知り、その影響や根本的な原因を考察することができる。	
②福祉的な見地から、様々な社会的課題を抱える人々について、必要かつ適切な支援を判断することができる。	
③データや資料を適切に使用して、自分の意見を表現し、具体的な行動を通して相手に的確にその意義を伝えることができる。	
【学びに向かう力・人間性】	
①福祉に関する様々な社会的課題について、社会的に弱い立場にいる人々に対する具体的な支援策を、社会的な価値のある所へ落とし込んで提案することができる。	
②社会的に弱い立場にいる人々に必要な支援を行うために、誰もが継続して取り組める社会の新たな仕組みを提案できる。	
③福祉に関する様々な社会課題について、具体化して考える中で、自らの今後の生き方と結びつけて考えることができる。	
下位学習目標	
【知識・技能】	
・福祉とは何か、また、福祉の歴史に遡りながら、その問題点について、自分の言葉で説明することができる	
【思考力・判断力・表現力】	
・福祉に関する様々な社会的課題について、その現状や問題点について、自身の経験や知識を元に思考、類推することができる。	
・福祉に関する様々な社会的課題について、その解決に至る道のりを論理的に思考し、行動することができる。	
【学びに向かう力・人間性】	
・福祉に関する様々な社会的課題について、それらの困難に直面している人々のことを想像することができる。	
・福祉に関する様々な社会的課題について、それらの課題を解決し、社会的に弱い立場にいる人々に手を差し伸べることができる。	
・福祉に関する様々な社会課題について、具体化しながら自分の立場に置き換えて考えることができる。	

授業日	4/15(火)	1 学期授業回数	1 回目 / 全 9 回
本時 学習目標	主なターゲット【知識・技能】 【思考力・判断力・表現力】 【学びに向かう力・人間性】 本時の具体的な目標 ・今年度の授業の目指す方向と最終目標を確認し、それに向けた班ごとの探究・行動計画を立てる。 ・自分たちの立てたテーマに関する歴史や経緯を深掘りをする。		
時間 授業内容	5 時間目	・スケジュールの説明 ・アントレプレナーシップの方針の説明 ・自らの班の課題と不足事項の振り返りを行いながら、今年度の探究・行動計画を立てる。 ・自テーマの歴史・経緯の深掘り	
	6 時間目	・5 限目の内容の続き	
評価方法	本日の評価は行わない		
宿題指示	各団体とアポイントメントを取る（可能なら訪問やインタビューを行う）・歴史や経緯の調査をする（インプット）、研究団体での発表を行う等、班ごとの必要性和ペースに応じて進めていく		

授業日	4/22(火)	1 学期授業回数	2 回目 / 全 9 回
本時 学習目標	主なターゲット【知識・技能】 【思考力・判断力・表現力】 【学びに向かう力・人間性】 本時の具体的な目標 ・各班のアクションに向けた準備を進める ・情報と意見について、違いを明確にしながらいんたビューなどの情報収集を行えるようになる		
時間 授業内容	5 時間目	・各班の団体とのスケジュール確認、他班の動向の共有 ・各班の探究作業の継続（アンケート作成、インタビュー内容の作成、課題の整理等）	
	6 時間目	・「情報」と「意見」の違いについて講義 ・各班の探究作業へのアドバイス	
評価方法	本日の評価は行わない		
宿題指示	各団体と今後のインタビューやアンケートに向けたコミュニケーション、学会発表準備など、班ごとに進める		

授業日	4/30(木)	1 学期授業回数	3 回目 / 全 9 回
本時 学習目標	主なターゲット【知識・技能】 【思考力・判断力・表現力】 【学びに向かう力・人間性】 本時の具体的な目標 ・大学図書館での文献検索の手法を理解し、効果的に文献を検索することができるようになる。 ・各班のテーマに沿った文献に広く当たることで、自分たちの探究活動の意義や位置づけを改めて理解したり、これまで気づけなかった視点を得たりして、より社会的価値のあるアクションを行っていく道筋を見つける。		
時間 授業内容	5, 6 時間目	・大学図書館で、基本的な検索作業の方法と、広く文献にあたるためのテクニックを説明する。 ・各班のテーマに沿った文献を最低 10 冊（一人 3 冊以上）を見つける。 ・適宜、班のメンバーで協力しながら、配布したワークシートと、レファレンスカードに必要な情報を記入していく。 ・授業終了時、ロイロの提出箱に、ワークシートとレファレンスカードを提出する。	
評価方法	文献検索用に作成したルーブリックに基づいて評価をする（ポイント：検索できた文献の量／「別アプローチ」・「反する（ネガティブ）」情報を検索できたかどうか）		
宿題指示	各団体と今後のインタビューやアンケートに向けた連絡、学会発表準備など、班ごとに進める		

授業日	5/13(火)	1 学期授業回数	4 回目 / 全 9 回
本時 学習目標	主なターゲット【知識・技能】 【思考力・判断力・表現力】 【学びに向かう力・人間性】 ----- 本時の具体的な目標 ・ 図書館文献検索のフィードバックの共有／思考整理に役立つフレームワークの理解 ・ 「思考のフレームワーク」を用いて、情報整理と論理の再構築をする ・ 文献検索・思考整理を行う前後を比較し「見える探究の景色」がどのように変わったのかについて自分で気づく		
時間 授業内容	5 限目	・ 文献検索の具体的な手法やポイントについて前回は振り返りつつ確認する。 ・ 前回文献検索の各班に対するフィードバックを確認する（他班についても確認する）。 ・ 「思考のフレームワーク」を説明し、情報整理と論理の再構築の方法を学ぶ。	
	6 限目	・ 班によってはオンラインインタビュー（zoom）や、企業へのアンケートアポイント取り。 ・ 文献検索・思考整理を行う前と後を比較し、「見える景色がどのように変わったか？」について、自分たち自身で気づき、本時の「思考の跡」をロイロのカードで提出する。	
評価方法	「思考の跡」として提出したカード		
宿題指示	各団体と今後のインタビューやアンケートに向けた連絡、学会発表準備など、班ごとに進める		

授業日	5/27(火)	1 学期授業回数	5 回目 / 全 9 回
本時 学習目標	主なターゲット【知識・技能】 【思考力・判断力・表現力】 【学びに向かう力・人間性】 ----- 本時の具体的な目標 ・ 文献検索の深掘りの確認と活用の助言をもらうことで、今後の探究の意義と可能性を再確認する ・ インタビューあるいはイベント開催の打ち合わせに行き、アクションプランを具体化する		
時間 授業内容	5 限目	・ 前々回の文献検索の内容について、各班ごとに櫻井先生からアドバイスを受け、思考のフレームワークについて再度確認するとともに、続く探究活動の指針を見出す。	
	6 限目	・ 待機児童班 …関西学院幼稚園へインタビューに行った。 ・ 高齢者の孤立班 …西宮市役所へ行き、イベントの実現に向けて、①地域共生推進課・市社会福祉協議会、②政策推進課の 2 課と、協議をしたり、話を聞いたりした。	
評価方法	本日の評価は行わない		
宿題指示	・ 櫻井先生と思考のフレームワークを確認した班は、探究活動の今後に向けて計画を練る。 ・ インタビューへ出た班は、現地で仕入れた情報を各自整理し、プランの実現へ向けて継続して取り組む。		

授業日	6/3(火)	1 学期授業回数	6 回目 / 全 9 回
本時 学習目標	主なターゲット【知識・技能】 【思考力・判断力・表現力】 【学びに向かう力・人間性】 ----- 本時の具体的な目標 ・自分たちの探究テーマが持つ「社会課題」としての広がりや深さを再認識する。 ・その社会課題を、ビジネス的視点や持続可能性を考慮して「解決」する具体的なサービスや仕組みを考案する。 ・自らの興味関心や強みと社会課題解決を結び付け、将来のキャリアや生き方におけるアントレプレナーシップの可能性を具体的にイメージする		
時間 授業内容	5 限目	・グループワーク①：課題の深掘りを「誰を、どう笑顔にしたいか？」という観点から整理し直す ・全体共有：各班 3 分程度で、深掘りした課題と「改善点」「笑顔の未来」について簡単に発表する	
	6 限目	・グループワーク②：5 限目に深掘りした「改善点」や「目指す笑顔の未来」に対し、具体的なサービスや仕組みのアイデアを考察する。 ・2 年生福祉探究の授業に合流し、3 年生の各班が取り組んでいる課題について簡単に発表した。	
評価方法	提出したワークシート①、② / ミニ発表		
宿題指示	・グループワーク②のやり残しがある班は取り組んで提出する ・個人ワーク「未来の私と社会課題」：今回の探究活動と自分自身の価値観を結び付けて考え、ワークシートを提出する		

授業日	6/10(火)	1 学期授業回数	7 回目 / 全 9 回
本時 学習目標	主なターゲット【知識・技能】 【思考力・判断力・表現力】 【学びに向かう力・人間性】 ----- 本時の具体的な目標 ・1 年間の学びを踏まえ、福祉の視点で老健・病院の業務を見学する ・自らの「弱者」の捉え方の変化を確かめる ・個別事例への対応と、包括的な施策構築の両側面の気づきをまとめる ・自らの進路・職業選択における関心を高める		
時間 授業内容	5, 6 限	福祉探究の 2, 3 年が合同で大阪暁明館病院を訪問（櫻井先生が勤務） 2, 3 年に別れて異なるコースで病院内を見学（薬局・リハビリテーション） 見学後、社会福祉協議会の北さんに各班、探究の相談会 終了後、必要な班は櫻井先生に探究の相談	
評価方法	学びの記録		
宿題指示	学びの記録を次週までに完成させる		

授業日	6/17(火)	1 学期授業回数	8 回目 / 全 9 回
本時 学習目標	主なターゲット【知識・技能】 【思考力・判断力・表現力】 【学びに向かう力・人間性】 ----- 本時の具体的な目標 ・班員の中で、明確な目的とそこまでに至る道筋をより具体的に設定することができる ・班員の役割を明確化し、各自が責任感を持って取り組むとする気持ちをセットする		
時間 授業内容	5 限目	①スモールステップのタスク分割→スケジュール設定を 1 週間単位で行う ②小さな壁→役割分担を設定して乗り越える ③変化のイメージ（目的を達成したらどうなるか）	

	6 限目	上記①～③を繰り返してゴールにたどり着く実践 発表
評価方法	本日の評価は行わない	
宿題指示	各班の課題に応じて動いていく	

授業日	6/24(火)	1 学期授業回数	9 回目 / 全 9 回
本時 学習目標	主なターゲット【知識・技能】 【思考力・判断力・表現力】 【学びに向かう力・人間性】 ----- 本時の具体的な目標 ・ 探究活動の意義や目的を改めて整理し、夏休みに続く次のアクションを明確化する。 ・ 個人のアントレプレナー探究を、設定した社会課題と自分自身との間で熟考して将来像へつなげる。		
時間 授業内容	5 限目	・ 前回までの進捗の確認と本時の目的について説明する。 ・ 各班の社会課題解決アイデアについて、「次のアクション」を具体化・計画化し、夏休み中の自主活動へつなげられるように計画表を作成する。 ・ フィールドワークやインタビューを予定している班は、その準備やアポイント取りを計画する。 ・ 適宜、教員が班の進捗や外部団体とのやり取りにアドバイスをする。	
	6 限目	・ 配布した夏のワークシートを利用して、個人のアントレプレナー探究への橋渡しと夏休みの課題設定を行う。	
評価方法	提出した「夏休み中の Next Action」の内容		
宿題指示	「夏休みの課題ワークシート」		